



市民に親しまれ、愛される公園づくりのために

矢加部 茂晴 議員

も多くの公園で地元と一体となった維持管理ができるよう努力したい。

問 住民に親しまれ、愛される公園づくりのために、市民のニーズを把握しておくことが大事である。

都市対策課長 ぜひ利用調査を行い、愛される公園、親しまれる公園を目指す。

事業コストを明らかにし情報公開を進めよ

問 平成18年度の公園管理の予算は4、400万円。17年度は4、100万円、16年度は3、800万円だった。公園の管理運営のコ

ストを明らかにすることも大事だ。また、このことが市民の皆さんの納税者意識を高めることとなる。

市長 公園の管理経費にとどまらず、今財政は大変厳しい。お金の使い道を極力公にする意味も込めて、市の予算を説明したパンフレットを作成し、今年度で3年目となる。まだまだ十分分なところがあれば、改善をしていきたいと思う。

問 市民との協働により公園・道路等の環境保全に取り組むと第4次行革にある。



井原堤水辺公園

市長 13のタイプの市民公園があるが、場合によっては有償ボランティアという手法を凝らしても、より経費のかからない、また、市民の協力を得られるような管理運営を進めていく。

都市対策課長 地元で愛される公園を目指し、一つで

生涯学習を築く

図書館のあり方

北島スエ子 議員

問 中央公民館図書室と、小・中学校図書館をコンピュータネットワークで結び、気持ちはないか。学校図書館を地域の人に開放する気はないか。

市長 三位一体の改革があり交付金が削減され図書館が建てられない。ネットワークの構築等を含め進めたい。

教育長 市長の答弁はありがたい。が、単にネットだけしても外に機能しなかつたら十二分でない。

教育部長 学校開放には防犯等クリアすべき点がある。学校、PTAとの協議が必要。学校開放は目指していかねばならない。

街灯で安心なまちを

問 全国的に痛ましい事件が多発している。国、県、市道を問わず街灯が少ない。年次計画で街灯設置を。

市長 事務事業評価の中で十分に議論し、今日置かれている情勢の中で街灯設置が必要か考える。

都市対策課長 通学路の街灯を別枠としてではなく、現在ある街灯設置条例の中で対応したい。

やさしい筑后市づくり

問 「認知症の人や知的障害者など判断能力が不十分な人の法律行為を支援する」

成年後見制度を市民へどう周知徹底するのか。
市長 法定後見制度、任意後見制度、権利擁護とも「地域包括センター」で対応するが、市民への周知も大事なので努力していく。
問 福祉タクシー事業の廃止が平成20年をめどに検討されているが、私は必要と考える。

市長 下妻、古島校区のコミュニティバスが回っている以外の地区は福祉タクシーは必要と思う。



中央公民館から「団体貸出し」された本のコーナー（市内小学校にて）